

凍上災害の道路復旧 補正を可決!

災害時等の私道除雪が可能に

12月定例会は、8日から15日まで開催され、8日には柳村典秀新村長の初議会にあたり、あいさつがありました。

審議の結果は、各会計補正予算、条例の制定などの10議案が可決となり、人事案件である教育委員会委員3人と監査委員1人の計4人が同意されました。

村長の給与の見直しに伴う条例の一部改正の議案は撤回されました。一般質問は9人が登壇し、新村長に対して村政の基本方針など、各分野に活発な議論を展開しました。

補正予算

千円以下切り捨て

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	2億9,273万円	136億7,120万円
介護保険特別会計	53万円	17億7,643万円
下水道特別会計	△209万円	12億7,550万円
水道事業	収益的収入	54万円
	収益的支出	△1,672万円
	資本的収入	△3,168万円
	資本的支出	△2,337万円

一般会計 主な内容

歳出	千円以下切り捨て
県知事県議会議員選挙費	919万円
岩手県後期高齢者医療広域連合設立準備委員会市町村分担金	200万円
村道維持管理事業費(災害復旧関連)	5,600万円
小学校校舎等補修事業費	1,087万円
凍上災害復旧事業費	2億6,960万円

ここが知りたい

質疑

問 後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を対象とするものであるが、そのメリットは。

答 今後さらに高齢化が想定され医療費の増大も見込まれます。その場合、果たして一市町村で、保険者としてやっていけるのかという課題もあります。メリットとしては、医療費の補てんなどの相互補完的な制度であり、県全体でリスクを平均化できること、広域連合で円滑な制度運営ができることです。

問 学校管理費の小学校等補修事業費の内容は。

答 篠木小学校への新入学児童が例年より約10名増加する予定で、2クラスが3クラスになるため1教室をふやす工事と、滝沢小学校に特殊学級をつくる予定をしており、その教室の改築費用です。

問 凍上災害復旧で道路改修を今後3年間実施されるが、その内容は。

答 被災路線は、73箇所延長43.8kmです。事業費で9億1,901万円の85%が18年度に契約、工事する予定です。冬期間の工事となるため、来年度4月から6月に工事を実施する路線もあります。19年度は14%分、20年度は1%分をそれぞれ実施する予定です。

問 教育振興費の就学援助費480万円の内容は。

答 現在のところ、402人を見込んでいるための増額補正です。前年度より約40人増加しています。増加の原因は、保護者の失業や病気などによるものです。

問 現在の収納の状況は。

答 前年の同期と比較すると、村民税、軽自動車税、国保税は上回っており、固定資産税、たばこ税は若干下回っている状況です。今後も引き続き収納率の向上に努めます。

議案撤回

滝沢村常勤特別職の職員の給与に関する条例の一部改正(条例改正)

〈撤回理由〉
行財政改革を進める上での公約である給与の見直しの一環として提案したが、今後予定している行財政改革プログラムの策定および中期財政見直し等の内容を勘案の上、提案すべきと判断したため。

設立協議

岩手県後期高齢者医療広域連合の設立協議

〈内容〉
後期高齢者医療制度の創設により、関係市町村が事務を共同して処理する岩手県後期高齢者医療広域連合を設立するため。

反対 討論

武田 猛見 議員

この制度は、大きな問題点と高齢者にとつて大きな不安を残した制度です。主な問題点は、扶養されている後期高齢者からも保険料が徴収されること、保険料や医療提供に広域連合間の格差が生じるなどです。また規約においても、広域連合の運営が不透明で責任の所在も明確ではありません。よって反対します。

賛成 討論

鎌田 忍 議員

この議案は、法律の一部改正に伴うものであり、そもそも反対できるものではありません。ただ、内容に若干の問題があることは認めますが、目的は各自自治体の危険分散の平準化であり、また将来的に医療、介護も含めて一元化するために広域化をめざすものであり、賛成します。

条例の制定

産業建設常任委員会付託

滝沢村災害時における私道の通行確保に関する条例

〈内容〉
村が管理していない私道について、村が災害時等において緊急に実施する私道除雪等及び私道除雪に要する経費の補助に関しての必要事項を定めた。

人事

滝沢村教育委員会委員

- 山崎 武彦氏 (満64歳) 再任 **同意**
- 安保 繁氏 (満36歳) 再任 **同意**
- 盛川 通正氏 (満61歳) 新任 **同意**
(現 滝沢村教育長)

滝沢村監査委員

- 神田 隆氏 (満70歳) 再任 **同意**



《議会構成の一部変更》

西村繁議会運営委員長の辞任に伴い、次のように互選されました。

議会運営委員会

- 委員長 角掛 邦彦
- 副委員長 佐々木 剛